~地域、市、学校の適切な役割分担による円滑な避難所運営のために~

1 避難所に対するそれぞれの不安

(住民の不安)

~もしも、こんな時に大地震がおきたら?~

真夜中、外は雨、家は倒壊で入ることができないので、避難所となっている小学校の 体育館に行ったら、鍵が空いていない。いったいどうすれば?

(自治会、自主防災組織の不安)

~避難者の自主運営って?自分たちは何を?~

避難所運営は、避難者の自主運営といわれている。自分たちはどのように対応し たらいいのだろうか。先生がいない場合の避難所開設はどうなるんだろう?

(学校教職員の不安)

~避難所とはどうかかわればいいの?~

東日本大震災では、多くの学校で学校教職員が家庭を顧みず避難所運営にあたったと聞く。 もし、この地域で大地震が起こったらいったいどうすればいいの?

2 東日本大震災、熊本地震で見えてきた避難所運営の課題

ケース1 東日本大震災の際、多くの学校(避難所)で先生方だけが家庭を顧みず避難所運営 にあたった。

ケース2 東日本大震災の際、学校教職員を全員帰し地域の自主防災組織が全て対応した。

ケース3 熊本地震のある町で、町職員が総力をあげて対応し、災害対策本部が機能しなかった。







地域(自主防災組織)、市、学校で 話し合う場が必要!

そして適切な役割分担を



どれもが

3 地域、市、学校での話し合いに向けて ~2つの冊子~

1 避難所運営マニュアル作成に向けて(話し合いの資料)

東日本大震災を教訓とした避難所の役割分担の先進例を参考とし、 円滑な避難所運営に向け話し合うための資料で、この資料に基づき話 し合いを進めます。

(内容)

①指定避難所についての確認

- 避難場所と指定避難所の違い
- 指定避難所の優先開設順位 ※小中学校の優先開設
- ・開設前の対応(事実上の対応) ※事前開設、鍵の問題など

②避難所運営のそれぞれの役割(先進事例を踏まえて)

• 自主防災組織、避難者、市、学校の役割は何か

③避難所運営のために話し合っておくべき事項

- ・初期段階でまず行うべき事項
- 夜間の開錠方法
- ・施設の利用可能箇所やルール
- →【確認表】に話し合いの確認事項を記載していく。

④避難所運営委員会の設置

• 市避難所連絡員(駐在)の事前配置

2 避難所運営マニュアル(たたき台)

「1 避難所運営マニュアル作成に向けて」の話し合いで確認した 事項を踏まえ、地域、市、学校の共通のマニュアルとして整備します。 話し合いを踏まえ加筆するものとし平成29年12月メドに成案とし公 表します。

(内容)

運営の基本方針(地域、市、学校で確認した内容)

初動対応(準備、組織の立ち上げ)

運営(各班の業務マニュアル)

各種様式 ほか

今後のスケジュール

7月中旬 モデル地区において地域、市、学校で協議

7月下旬 上記の再協議(状況に応じて再度) 8月下旬 避難所運営マニュアル(案)を作成 9月3日 山形県・酒田市総合防災訓練で暫定実施

9月以降 コミセン単位で(地域、市、学校)話し合い。 12月下旬 避難所運営マニュアルの確定、公表

酒田市で初の避難所運営実地訓練/富士見学区自主防災連絡協議会

日時 平成29年6月18日(日)

場所 富士見小学校

昨年度、酒田市総合防災訓練において図上の避難 所運営訓練を実施した富士見学区自主防災連絡協議 会では、収容できる人数の少なさと要支援者、外国 人やペットの対応など多くの課題があるとこを実感 した。今回、富士見小学校と連携しながら、地域全 体でその課題を共有するために避難所運営実地訓練 を実施した。

今後、このような取り組みを拡大していきたい。 そして、継続的な話し合いにつなげていきたい。



避難所運営訓練の説明

要援護者、妊婦 → 保健室へ



ペットを連れてきた人が避難 → ペットは屋外テントに



保健室にシャワー設備あり いいね 📥



狭いな一、硬いなー・・・

酒田市自主防災協議会広報誌 「自主防の街」 平成29年3月20日発行



-3-





避難